

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	市民総参加のまちづくり推進事業	コード	161101
-------	-----------------	-----	--------

2 担当部課	部等 企画政策部	課等 企画課	作成者 宮坂 征憲
--------	----------	--------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて		
		政策	総合計画の推進に向けて	施策	市民総参加のまちづくり
		予算科目	市民総参加のまちづくり推進事業費	業務委託	なし（直営）
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
		根拠法令	なし		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	市民が市の様々な活動に参加し、市民総参加のまちづくりを推進できるよう、市民参画の事業を行う。			
目的	対象者	市民		
	意図	様々なまちづくり活動に参加するとともに、各種施策・計画等の立案やその実施に参画し、行政との協働によりまちづくりを推進できるようにする。		

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>1. 高校生まちづくり会議（会議等の開催：9回、参加者数：118名） 市内3高等学校の有志による会議“Voice of AOHS”を組織し、高校生ができるまちづくりについて検討し実行した。平成30年度は、インスタグラムによる情報発信、ご当地グルメ開発、公園づくりに取り組んだ。</p> <p>2. 第5次岡谷市総合計画策定に向けた市民意見の聴取（実施回数：計6回、参加者数：延69名） 子育て世代保護者、岡谷市PTA連合会役員、岡谷市保育園保護者会連合会役員、20代独身女性、地域の子育てサークル参加者などを対象に、まちづくりに関するインタビューを行なった。</p> <p>3. 21区市政懇談会「まちづくりふれあいトーク」の開催（開催回数：21回、参加者数：1,089名） 第5次岡谷市総合計画の策定にあたり、市民のみなさんの想いを伺うため、市内21区を巡回する市政懇談会を実施した。</p> <p>4. 岡谷市市民アンケート調査の実施（回答者数527名） 18歳以上の市民1,000名を無作為抽出し、市政に関わるアンケート調査を実施した（回収率52.7%）</p> <p>5. 市民憲章推進協議会事務 ①協議会 常任理事会・理事会：7/9開催、出席者常任理事・理事41名 ②協議会記念植樹（岡谷西部中学校）：5/8開催、参加者25名</p> <p>※【実績値】1,869人=1.(118名)+2.(69名)+3.(1,089名)+4.(527名)+5.(66名)</p>				
前年度の課題への対応	若い世代にまちづくりに関わってもらうため、高校生まちづくり会議“Voice of AOHS”を組織した。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	事業を実施した件数			単位	件
実績値	4	4	5		
*指標の説明	講座、会議等具体的な事業を実施した件数				
② 成果指標（指標名）	講座、会議等の定員に対する参加者数			単位	人
目標値	50	50	50	50	
実績値	105	1,602	1,869		
達成度	210.0%	3204.0%	3738.0%		
*指標の説明	講座、会議等の定員に対する参加者数				
*目標値の設定方法の説明	講座、会議等の定員数				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	269,922	249,940	231,890	547,000
経常経費	269,922	249,940	231,890	547,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000
正規職員の人数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30
③ 合計コスト(①+②)	2,669,922	2,649,940	2,631,890	2,947,000
前年度比		99.3%	99.3%	112.0%
財源				
一般財源	2,669,922	2,649,940	2,631,890	2,947,000
内訳				
特定財源	0	0	0	0
* 特定財源の説明				
④ 活動一単位あたりコスト	667,481	662,485	526,378	
前年度比		99.3%	79.5%	
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名		28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
市民憲章推進協議会 補助金	件数	1	1	1	1
	金額	60,000	60,000	60,000	60,000
岡谷市連合壮年会 補助金	件数	1	1	1	1
	金額	45,000	45,000	45,000	45,000
岡谷市連合婦人会 補助金	件数	1	1	1	1
	金額	95,000	95,000	95,000	95,000
	件数				
	金額				
	件数				
	金額				
ア)の①に含まれる負担金 等合計金額及び割合	合計金額	200,000	200,000	200,000	200,000
	割合	74.10%	80.02%	86.25%	36.56%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。		0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

標準

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。		0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	成果指標の実績値	前年度比
	116.7%	1
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	成果指標の目標値	達成度
	3738.0%	1

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること) 社会の担い手となる20~40代層から意見聴衆する機会を設けていくことが必要である。 また、高校生によるまちづくりの取り組みについて、参加する高校生が達成感を得ることができる成果を残すことが必要である。	
	改善方法	(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容) ・各部課等で実施している市民参加型事業等において引き続き積極的に市民意見の聴取に努める。 ・高校生のまちづくりに関わる活動については、先進自治体の高校生との交流や地元企業との連携を深め活性化を図る。
改善開始時期		

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	
-----------	--------	---	--